

円満の度合いを計る口喧嘩

竹本 夕エ子

つぶやきもスマホ無き為独り言

今川 昇

忘れたきことは忘れず春の風

藤井 節子

こゝろほり
鯉幟泳ぐ山里生き返る

江山 豊

喜んだ一球の球が逆転打

弘中 幸友

俳句

傘寿さんじゅとてくわ鋏持くわつ日々や山笑ふ

貞弘 和子

風光る着物の裾を捌きゆく

丸田 和子

音読ひごとのうま日毎ひごとに巧うまし春暮るる

馬場 精作

慎ましく古民家カフエ古雛ふるひいな

村瀧 富子

釘付けのWBC春炬燵

阿部 明美

短歌

白木蓮桜しゃくなげもっこうばら石楠花木香薔薇春の我が家は花あふれたり

江川 詳子

あおだけ青竹とう熱血恩師の訃報聞く近年熟した竹であつたが

賤間由美子

その時はたしかに音が聞こえたよ たった二枚の南天はらり

中司 和子

春の雨ちよつと気持を引締めてパステルカラーの春へと移行

山口 正子

坂道を河津ザクラに杖と共無欲になれた満がんの我

森坂 達夫

自由律俳句

ふつうに生きて息が吸える病後びょうごの私

叶屋 香代子

親心いっぱいの引き出しは亡母からの手紙

松下 満江

沖が鳴る今夜は雷雨か

吉崎 紀子

カーテンをあけて新しい命をいただく

田中 律子

並んだ靴君の靴だけ大きくなった

賤間 星